

利尻島未記録のガ類 5 種

佐藤雅彦

〒 097-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志 利尻町立博物館

Five Moths, Newly Reported from Rishiri Island, Northern Hokkaido

Masahiko Satô

Rishiri Town Museum, Senhoshi, Rishiri Is., Hokkaido, 097-0311 Japan

Abstract. Five moth species, *Endoclyta sinensis*, *Synanthedon Hector*, *Hyles gallii*, *Smerinthus planus* and *Arcte coerulea*, are newly reported from Rishiri Island.

利尻町立博物館所蔵標本および新たな採集などによって得られた蛾類から、これまで利尻島における記録がない 4 科 5 種について報告する（平嶋, 1989；楠・保田, 1991, 1993；倉田・西澤, 1992, 1993, 1995；神保・柳田, 1978；酒井ほか, 1968；楠・佐藤, 2001, 2013；工藤, 2010, など）。

フクラスズメを除く 4 種の採集場所は、いずれも利尻島南部の仙法志地区であり、クマイザサを主体とした草原に小規模の森林が点在する火山麓扇状地の末端に接する市街地の区画内にあたる。

なお、調査にご協力いただいた佐野洋之氏および佐藤里恵氏（利尻町）、原稿の校閲をいただいた楠祐一氏（旭川市）に心から感謝申し上げます。

コウモリガ科 Hepialidae

01. *Endoclyta sinensis* (Moore, 1877)

キマダラコウモリ

1F, Senhoshi, Rishiri Island, Hokkaido, Japan, 2016.viii.4, M. Satô leg., RTMLp208.

利尻島からはこれまでキタコウモリとキンスジコウモリの 2 種が同科から記録されており（平嶋, 1989；神保ほか, 1971）、本種が 3 種目となる。

スカシバガ科 Sesiidae

02. *Synanthedon Hector* (Butler, 1878)

コスカシバ

1, Senhoshi, Rishiri Island, Hokkaido, Japan, 2015.viii.8, M. Satô leg., RTMLp209.

スカシバガ科はこれまで本島から記録がなく、本種が最初の記録と考えられる。利尻島では、民家の庭や、公園、車道脇などにサクラ類が植樹されていることも多く、サクラやリンゴなどの果樹の害虫とされる本種（北海道植物防疫協会, 1986）が、本島に自然分布していたかどうかは不明である。

スズメガ科 Spingidae

03. *Hyles gallii* (Rottemburg, 1775)

イブキスズメ

1, Senhoshi, Rishiri Island, Hokkaido, Japan, 2001.vii.25, M. Satô leg., RTMLp210.

食草としてはカワラマツバとヤナギランが知られており（岸田, 2011a）、本島にも両種が自生するが、海岸に比較的多くみられるのはカワラマツバの品種のひとつであるエゾノカワラマツバである。

04. *Smerinthus planus* Walker, 1856

ウチスズメ

1F, Senhoshi, Rishiri Island, Hokkaido, Japan, 2015.vii.29, H. Sano leg., RTMLp211.

後翅の眼状紋が目立つスズメガ科の1種で、ヤナギ科、バラ科などを食草とする(岸田, 2011a)。本個体は、周囲にサクラ類などが植樹されている公共施設敷地内で採集された。

ヤガ科 Noctuidae05. *Arcte coerula* (Guenee, 1852)

フクラスズメ

1, Menushoro-numa, Minamihama, Rishiri Island, Hokkaido, Japan, 2011.iv.15, R. Sato leg., RTMLp213.

イラクサ科が主な食草とされ、採集場所である南浜湿原ではエゾイラクサが湿原周辺に見られる。本種は成虫越冬で知られるが(岸田, 2011b)、本個体は雪解け直後に死亡した状態で見つかっており、越冬に失敗した個体と思われた。

参考文献

平嶋義宏(監修), 1989. 日本産昆虫総目録. 九大農学部昆虫学教室, 福岡. 1767pp.
 北海道植物防疫協会, 1986. 北海道病害虫防除提要. 北海道植物防疫協会, 札幌. 495pp.
 神保一義・柳田慶浩, 1978. 北海道利尻島利尻山の蛾. 誘蛾燈, (74): 135-139.

岸田泰則, 2011a. 日本産蛾類標準図鑑 I. 学研教育出版. 352pp.

岸田泰則, 2011b. 日本産蛾類標準図鑑 II. 学研教育出版. 416pp.

工藤広悦, 2010. 利尻島のキリガ類. 利尻研究, (29): 7-11.

倉田 稔・西澤繁幸, 1992. 利尻島の蛾の調査報告(1). 長野県と日本列島の自然の研究3, 利尻島・礼文島・天売島. 29-45pp.

倉田 稔・西澤繁幸, 1993. 北海道・利尻島の蛾 I. 利尻研究, (12): 19-30.

倉田 稔・西澤繁幸, 1995. 北海道・利尻島の蛾 II. 利尻研究, (15): 17-24.

倉田 稔・西澤繁幸・蛭川憲男, 1990. 利尻島の昆虫. 長野県と日本列島の自然の研究1. 19-24pp.

楠 祐一・佐藤雅彦, 2001. 利尻島産蛾類の記録: 1990~2000年の採集品目録. 利尻研究, (20): 55-60.

楠 祐一・佐藤雅彦, 2013. 2000年から2009年にかけて採集された利尻島産蛾類標本. 利尻研究, (32): 37-45.

楠 祐一・保田信紀, 1991. 利尻山高山帯の蛾類. 利尻研究, (10): 29-32.

楠 祐一・保田信紀, 1993. 利尻島鴛泊にて得た蛾類. 利尻研究, (12): 15-17.

酒井 香・花谷達郎・小沼 篤, 1968. 利尻島の昆虫(I) 利尻島産鱗翅目. 利尻島動植物調査の記録. 東京農業大学第一高等学校. 64-79pp.